

# ～郷土かるたで故郷発見～

業も衰えたが、江戸時代になり世の中が平和になるにつれ、蚕飼も盛んになり、中でも京都西陣などは織物の産地として知られるようになった。地方でも蚕飼・生糸製造が盛んになり仲買人(糸師)によって買い集められ多くが京都に運ばれた。この生糸は京に登ることから「のぼせ糸」と呼ばれた。岡谷地方では江戸時代中期以降、余業として蚕飼・生糸製造が発展し、近江商人の手を通じて「のぼせ糸」の移出が行われた。その後安政年間(一八五四―一五九)開港となり、市場が外国に開け「のぼせ糸」は重要な輸出品となって生糸業は発展し、世界の岡谷といわれるようになった。



## 京 京へ京へのほせ糸

信濃国に古くから蚕糸業のあったことは、「続日本紀」などによって知ることが出来る。しかし生糸は上層貴族の使用するもので、一般庶民の使用するものではなかった。古代にあっては生糸や織物は貢租として庶民に課せていたが、中世の時代は戦乱に明け暮れ蚕糸業も衰えたが、江戸時代になり世の中が平和になるにつれ、蚕飼も盛んになり、中でも京都西陣などは織物の産地として知られるようになった。地方でも蚕飼・生糸製造が盛んになり仲買人(糸師)によって買い集められ多くが京都に運ばれた。この生糸は京に登ることから「のぼせ糸」と呼ばれた。岡谷地方では江戸時代中期以降、余業として蚕飼・生糸製造が発展し、近江商人の手を通じて「のぼせ糸」の移出が行われた。その後安政年間(一八五四―一五九)開港となり、市場が外国に開け「のぼせ糸」は重要な輸出品となって生糸業は発展し、世界の岡谷といわれるようになった。



## ほ 棒道は信玄公の軍道

武田信玄は諏訪頼重を滅ぼして諏訪地方を支配した。信玄はここを足がかりとして、佐久を手中におさめ川中島へと兵を進めた。その出陣のため急ぎ作られたのが、いわゆる信玄の棒道である。その名の示すように直線道路であって、八ヶ岳山麓を南から北へ上・中・下の三筋が作られた。甲府から諏訪への道は、「どの山の本を伐つて橋に使ってもよい」といったお触れを出し、その権力と武力にものをいさせた大規模な軍用道路の建設工事であった。この道を通って、信玄の軍団は川中島を目指した。沿線には信玄の隠し湯・茶清水・隠れ岩とか、沢山ののろし台などがあって、信玄にまつわる伝承がいっぱいある。茅野北山の枳形城は、甲州軍の足だまりとして構築された。そして信玄は幾度となく川中島に兵を進めたのである。その合戦の結果は引き分けに終わったが、諏訪の地が他国の領主によって支配されたのは武田の時代だけであった。

# 諏訪のいろはかるた (11)



友だち、  
すべてできちゃった!

北

気分はもう一年生!

～来入児一日入学～

元気いっぱい!  
ゲームを楽しむ

南

冠雪の石仏

4月の暦 御頭祭 八幡武義作

日	月	火	水	木	金	土
	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

今月のおおすすめ本

ジャズ批評

松坂妃呂子 編集人

毎号、楽しくバラエティに富んだ特集を組んでいるジャズ専門誌。特集に添って名盤・レア盤・珍盤・最新盤まで多くのアルバム(巻頭カラージャケット含め)を紹介しています。その他にも、輸入盤・海外レポート・コレクター訪問などの企画満載です。また、町図書館では毎月一回所蔵CDを聴く会を開いています。講師は以前音楽関係の仕事をしていた篠原さんです。毎回一つのテーマで解説をしていたいただきながら、ジャズを皆さん楽しんでいきます。(平出みちよ)

本と図書館の歴史

西村書店

人々は五千年以上も昔から、身の回りの事を書きとめてきました。やわらかい粘土に記号を彫ったり、石に文字を刻んだり。今のような紙に印刷する本の形になるまでに、書物はどのように変化してきたのか。また、それらの書物を大切に残してきた図書館は、どんな形から始まったのでしょうか? この本は、子どもにも分かりやすく、ラクダを使った移動図書館の始まりや現在の電子書籍の話まで、本と図書館の歴史が分かる面白い話がいっぱいつまっています。(濱 智栄子)

下諏訪町総務課 ☎27-1111 内線259 FAX28-1070  
E-mail iyoho@town.shimosuwa.lg.jp  
下諏訪町教育委員会 ☎27-1111内線718 FAX28-0131  
E-mail syougai@town.shimosuwa.lg.jp  
下諏訪町社会福祉協議会 ☎27-7396 FAX27-0890  
ご意見・お写真などをお寄せください